

## いま、石達が語りはじめた（90・11・19）

細野 礦史（昭24一修文甲）

「十八日会で一言喋れ。」とのお話を頂戴致しまして非常に光栄と存じますと共に、さてなにお話しさせて頂いたらよいか非常に戸惑いを感じております。富井先輩から「仕事のことでも話したら」と有難いアドバイスを頂きましたので、皆様方余り御興味のない話題かも知れませんがお許しを得まして、商売上の石材のことにつきまして暫くお耳を拝借したいと存じます。何分にも「石の話」など、はじめての経験でございましてお聞き苦しい点多々あろうかと存じますが、何卒御容謝賜わり度いと存じます。よろしくお願い申し上げます。

三高は無論のこと、全国の旧制高校を御卒業なさいました方で、石屋さんをやっていらっしゃる方は皆無に近いのではないかと思うわけでございます。私の知ります限り、唯、一人いらっしやいます。此の方も自ら進んで石材業を選ばれた訳ではなく、大学の先生をしておられた所、親爺さんから「帰って来い」との厳命を受け、家業の石材業を継がれたと聞いております。自ら

の意志で石材の世界に飛び込んだ変り者はまあ私位しかないのではないかと自負している次第でございます。この「石屋」といいますのは、こう申し上げてはなんですが社会的に疎外されたというか、一段下に見られているというか、「オイ、コラ石屋！」といった具合にオイ、コラ呼ばわりされる社会的認知しかなかったのではないかと思っております。私仕事の関係で、よく海外に行くのですが飛行機の中で偶々隣席の方から声を掛けられます。

「お仕事で御出張ですか？」

「はあ、そうです」

「ほ、う。どういいうお仕事で？」

「石屋です」

「あ、そうですか。ドクターでいらつしやいますか」

「いや〜。メデイカルドクターではありません。ストーンンの石屋です」

「ああ、失礼しました。宝石をお扱いでございますか？」

…とまあこう来る訳ですね。みかげ石とか大理石とか墓石とかいいう連想がまるで出て来ないので。この点は外国でも大同小異のような感じがします。イミグレーションで質問を受けます。

「観光か商売か?」、「商売だ」、「なんの?」、「ストーン・ビジネスだ」すると必ずですね「オイッ! サンプルを見せろ」と、こう来るんですね。「ハイヨ!」とサンプルを見せると如何にも軽

蔑した眼差しで「なあんだ。石ころじゃあないか」となる訳です。

彼等はストーンというとすぐ宝石しか思い浮ばない。サンプルと称して宝石をガツポリ持ちこもうとしているのではないかと疑う訳です。まあそれ程、私のやっております商売は社会的認知の少ない分野でございます。ではなぜこのような世界に迷い込んだかというあたりから自分史的なことになって恐縮ですが、お話しさせて頂き度いと思うのでございます。

インテリの中のインテリの三高諸先輩の前でこのようなことを申し上げるのは気恥づかしいし、「あの男、一寸頭が狂っているのではないか？」と思われるかも知れませんが、実は私、大学を出ました年に親爺を亡くしました。親孝行らしいことをなにもしていなかったものですから、せめて墓位立派なものを建て、やりたいと思っておりました。偶々知人が来て言うには「墓には墓相なるものがあって、その形状・位置により吉凶禍福がある。自分の友人にその道の権威がいるから一度相談してみてもどうか」とまあこういうお話だったわけです。私は聞き流しておりました所、母親が気になったらしく、件の墓相家を訪ねたようでございます。帰って来て言うには「あ、びっくりした。戒名を見けた、けでお父さんのことみんな言い当てはったわ」父の戒名は「覚了院鉄心明德居士」というのですが、「人の面倒をよくみたら人で非常に慕われていた。仕事は鉄関係で、死因は脳溢血である。悪いけれど息子さんは仕事の跡を継げなくなるであろう」と喝破したというのです。まあ、その時は解りませんでしたでしたが結局、私は父の稼業を承継出来な

い羽目に陥って参ります。

然しそれはあとの話でその時は「そんな馬鹿な、きつとあの知人が喋ったに決っているから誰も知らぬ戒名を持って行つてもう一度試してみては？」「それもそうだ」というわけで今度はおふくろは大正初期に亡くなった自分の母親の戒名を持って行つた所「あ、この人は若死にですね。胸の病いで亡くなっていますね」と言われたのです。若死は解っているが死因が肺病だったかどうか解らないから本家に聞いてみようということになり確めた所正しく結核で死んだと聞かされたわけです。こうなつては放つておけません。若気の至りというか盲、蛇に怖じずというか、「よし。こつは俺様が直々出向いて世を惑わす不逞の輩を征伐してくれるわ」と勇躍、その墓相家なる本據に乗り込みました。かれこれ、三時間も論争したでしょうか？ 話はどうしても交差せず平行線を辿るばかり、唯彼の言うのは「自分はあてずっぱをいっているのではない。自分の足で全国を廻り、統計を取り、その統計に基づいて確率論でものを言っているのだ。あんたは東大出。自分は小学校しか出たらんがこの研究の為に費した金と時間は、あんたの比ではない」「これ以上の討論は無駄だ。では一つ実地で勝負しようじゃないか！」という訳で近所の寺に赴き墓地にある墓を観相してもらつた所、気味の悪い位、あたるのです。理屈抜きで答だけがバツバツと出てくる。「これはひよつとするとひよつとするかも知れないぞ」という訳で、兎も角、その先生に父親の建墓をお願いした次第です。さてそれからというもの、果して彼のいうの

は真実かと我家の墓を研究対象に毎日曜日墓参りして調査した所、意外な説明のつかない現象に出喰わすこととなります。

その墓地には同型の墓が二十墓ばかり建っているのですが、各家々によって水分の上がり方がみな違うのです。日光の照射条件・降雨量・風量は先づ同一とみて差支えありません。地下水の分布も狭い区画のことゆえそうく差はない筈です。然るにある家は下台が真白に乾き切っているのに竿石がたつぷり水分を含んでいる。ある家は真中の台だけが乾き切っている。そしてある家は自然法則の儘に下から段々色調が薄らいでいく理想的な水の上りを示している。といった具合に千差万別、それによってその御家庭に今何が起りつゝあるかがある程度推測できるといってもあながち荒唐無稽と言えない気がしたのです。あれから四十年近く、いろんな墓を見せて頂いておりますが、物質個有の振動数と形状の発する波動、そしてエネルギーの世界といつかいわゆる霊界とには夫々微妙なかゝわりあいがあり、その相互干渉の上に動きが展開されているような気がしてなりません。

まあ石との第一次遭遇は、このようにしてお墓であった訳ですが、これは飽く迄趣味の領域で本業は先程安部さんから御紹介頂きましたように、石油でありました。十月のスピーカーでいらつしやった八城さんはエッソ・スタンダード石油でまあ真正銘のオイルマンでございますが、私の場合は商社におりましたので、どちらかというとゲリラ部隊に属します。世界の何処からで

も、セブンスターズの制約なく、油ある所から引張ってくるということをやっておりました。ソ連産石油を日本に導入しましたり、東欧圏のルーマニアに三洋電機さんのテレビを輸出して見返りに同国産重油を購入するといった仕事です。最近「東欧ビジネス戦記」という本が出ましてその中で当時の私の仕事のこととも紹介されておりますが、なにぶん東欧圏に乗り込んだのが非常に早い方でしたので、記録に留めてくれたのではないかと存じております。

まあ、そんな次第で東欧圏では一寸、名前が出ていたのであります。

ある日のこと、ユーゴスラビアから「原油を買わないか」という話が参りました。むろん、ユーゴは石油など産出致しません。彼等は漁船をソ連に輸出して見返りに貰う原油を日本に売りつけようという寸法です。早速ベオグラードに飛びました。御経験おありの方もいらっしやるかと存じますが、冬のユーゴはまことに黄泉の国のような所でございます。雲が幾重にも重なって太陽光線から完全に遮断されている。ぼんやりと明るいののは十時から十四時半迄位、あとは暗闇。そういう環境に二十日ばかりもおりましたでしょうか？ 無性に太陽が恋しかったのが強烈な記憶として残っております。結局、思わぬソ連国内の政変の為、肝心の漁船輸出の話がストップしてしまい、当然油の話も立ち消えまして、此の仕事は失敗に帰するのですが、この傷心の事件が石材への誘いとなろうとは神ならぬ身の知る由もないところでございました。本社でも私の失望落胆を察してくれたのでございましょう。「エジプト原油の調査でもしてきては？」という有難

い指示を頂いた訳です。これはテッキリ骨休めして来いということだわいと一人合点して、アテネ経由カイロに着きました。旅人の誰もがそうするようにピラミッドに駆けつけました。その時の衝撃は魂の奥底深く刻みつけられるそれでした。息をのみました。ものも言えませんでした。自分であって自分でなくなりました。眼前の石の集合体に身も心も吸い寄せられてしまいました。ふと思いが湧いてまいります。「自分の扱って来た石油は燃やしてしまえば姿形を留めない。然し此の石の構築物は四千年の歳月を経て、なお人類の営みの姿を今に伝えている。出来ることなれば将来このような仕事がしてみたい。石に取り組んでみたい。」それは閃めきのようなものであったかも知れません。眠っていた魂に対する呼びかけであったかも知れません。いずれにせよ強烈なインパクトを受けた一瞬でありました。

帰国後暫くは石油の仕事を続けておりましたが何者かに誘われるが如く、永年お世話になっておりました会社から、御無理を申し上げてお暇を頂戴すること、なりました。そうした所へ偶々軌を一にしたと申しましょうか、石の話が舞い込んで来たのでございます。四国の高松郊外に庵治と申す石屋町があります。其処の石屋さん数名がやって来て言われるには「自分達にとって石は生活の糧、米の飯である。然るに近時、材料の手当ても儘ならない。このまゝでは生活にもこゝと欠く始末である。ついてはどんなものだろう。あなたは外国の事情に精通しているようだから外国の石を日本に持って来てくれんだろうか……とまあこういうことございました。何分に

も生来オッチョコチョイに出来上っておりますので「よし。解った。一膚脱ごうじゃないか。石のことは皆目素人だが、お役に立つことならやらして貰いましょう。」という訳で、早速日商岩井、当時の日商の担当部門の社員と連れ立って、アフリカ、ポルトガル、ベルギー、スウェーデンと石のありそうな所を駆け廻りまして、西も東も解らぬまゝに、石の輸入を開始したのが石材業界との御縁の始まりとなったのです。そこで石と申しましても採石手段方法をご覧になった方も少ないと存じますのでビデオでも見て頂ければと思います。これは南アフリカ共和国の採石場で、世界で最も進んだ方法で且つ大規模採石を実施しております、世界中すべてがこの方法を採用している訳ではありません。その点お含みの上御覧頂きます。

(ビデオ映写)

始めにヘリコプターが出て参りますが、操縦しているのが此の会社の会長さん。フレッド・キリー氏です。彼と二人で当初の頃、このヘリに乗り込み石探しに明け暮れたもので非常に懐かしい一駒でございます。……………

今見て頂きましたようにこれが最新の採石方法です。アメリカ、フィンランド、カナダなど規模は若干小さくなりますが、似たようなやり方で石を採っております。今日は理科の先輩もお見えと思えますのでお教え頂きたいのですが、今一番私達が困っておりますのは、石を火焰で吹き飛ばし乍ら切断するジェット・バーナーの騒音と粉塵対策です。アフリカの草原ならいざ知らず



人家の傍では先づ使えません。そこでグイヤモンドチップを取り付けたワイヤーで山全体を切断したり、これも、はや十数年研究しているのですが未だ成功していない高圧水切断法、つまりウォーター・ジェット方式なのですが薄物では成功しても五米十米の深さ迄となるとお手挙げの状況です。レーザーでもなんでも、若しなにか良いアイデアがありましたら是非お教え頂き度く存じます。お願いついでにもう一つお願い致しますと石の内部に山疵が入っていることがまゝ、あります。業者仲間では袋疵といっておりますが、これが仲々発見し難い、その為、可成り無駄な原石を購入していることもありますのでその発見方法も併せて御教示頂けたらと存じます。

では現在日本はどの位の石を海外から買い付けているのだろうかということですが、資料の二頁目「花崗岩原石輸入数量」にお目通し下さい。

今から約二十年前、全日本の花崗岩輸入量は僅か五万九千二百六十九屯であったわけですが、所が十年後の一九七九年には五十三万二千八百八十二屯となり、更に昨年一九八九年には百十九万一千八百四十三屯、つまり二十年間で約二十倍に増加したことになります。まさに日本は平和且つリッチだなと思う次第です。以上は花崗岩原石だけを見たのですが、最近では製品や半製品も海外から輸入されております。皆様方、町の石屋さんで見掛けられるお墓、これは全部日本製とは限りません。お買得商品の可成りの部分はメイド・イン・コリアか、メイド・イン・チャイナです。

1. 花崗岩原石輸入量推移

年度	数量(M/T)	伸張率
1969	59,269	100
1979	532,882	899
1989	1,191,843	2,011

2. 1989年石材輸入実績

石種	形 状	数量(M/T)	CIF 金額(千円)
花崗岩	原石	1,191,843	31,082,903
	製品、半製品	536,551	61,437,110
	小 計	1,728,394(90.7)	92,520,013(78.2)
大理石	原石	60,356	2,837,565
	製品、半製品	105,941	20,110,816
	小 計	166,297( 8.7)	22,948,381(19.4)
その他	原石	2,667	120,550
	製品、半製品	8,606	2,724,519
	小 計	11,273( 0.6)	2,845,069( 2.4)
石 材 合 計		1,905,964( 100)	118,313,463( 100)

### 3. 花崗岩上位5仕入先国別輸入量

国名	原石(M/T)	製品、半製品(M/T)	合計(M/T)
韓国	339,343	226,123	565,466
中国	204,253	300,515	504,768
印度	173,550	16,281	189,831
イタリー	10,530	97,682	108,212
南アフリカ	81,861	6,250	880,111
合計	809,537	646,851	1,456,388

(76.4%)

#### (その他の仕入先国)

アメリカ、カナダ、ブラジル、ウルガイ、アルゼンチン、ペルー、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、スペイン、ポルトガル、イタリー、ギリシャ、ユーゴスラビア、ソ連、イギリス、フランス、ドイツ、ルーマニア、トルコ、ジンバブエ、アンゴラ、ナミビア、モザンビーク、ザンビア、オーストラリア、ニュージーランド、パキスタン、マレーシア、フィリピン、インドネシア、スリランカ、サウジアラビア、タイ、香港、北朝鮮、台湾。

又公園・広場に使われる舗石・縁石・敷石の少なからざる部分が中国製です。こういった商品がここ二・三年、頓に増えて参りました。金額ベースで見ても頂いても解りますように、原石の三百十億円に對しまして、六百十億円とは、倍近い金額のものが製品化されて入つてきております。一方ビルの内装に使われております大理石は花崗岩に比較しますと量的には微々たるものです。原石・製品・半製品・一切を含めて十六万屯にしか過ぎません。その他とありますのは砂岩とか六方石とかいった類いのもです。これも微々たるものです。一万一千屯位。そうしますと昨年一年間で、およそ石と名の付くものは、日本全体でCIF価格約一千二百億円位と算定されます。まだ残っている国産材も含めますと末端市場規模がどうやら一兆円に達したかというのが石材産業の現状ではないでしょうか。

では、このような石を世界の何処から輸入しているのかということで主要国だけを挙げてみました。韓国、中国、印度、南アフリカ、ポルトガル、カナダ、アメリカ、ブラジル、イタリー、北歐三国ETCといったところです。こゝで面白いことに気付きます。原石の商売は社会主義国とは仲々伸びないということ。ソ連も北朝鮮も日本との石の商売の歴史は夫々二十五年以上持つております。ところが全然実績は伸びない。北朝鮮等韓国と較べると構網対ファンカツ位の差がついてしまった。資源自体は北の方が恵まれている筈です。理由は何かという市場経済原理の導入の有無に帰せられるようです。……とい、ますのは嘗つての中国がそうでした。何度交易会

で商談しても仲々実績につながらない。取引量は二十年経っても横這い又は下落、それが鄧小平さんの登場、開放路線の採用で状況がガラリと変ってしまった。あれ程かたくなに拒否していた採石場へ「さあ、日本の皆さん。どん／＼お越し下さい。石の採り方を教えて下さい。合弁大歓迎ですよ」と来た訳です。果せるかな、こゝ三・四年の対日輸出量の伸びは目を見張るものがあり、この分では近く韓国を追い抜きトップの地位にのしあがると思われます。

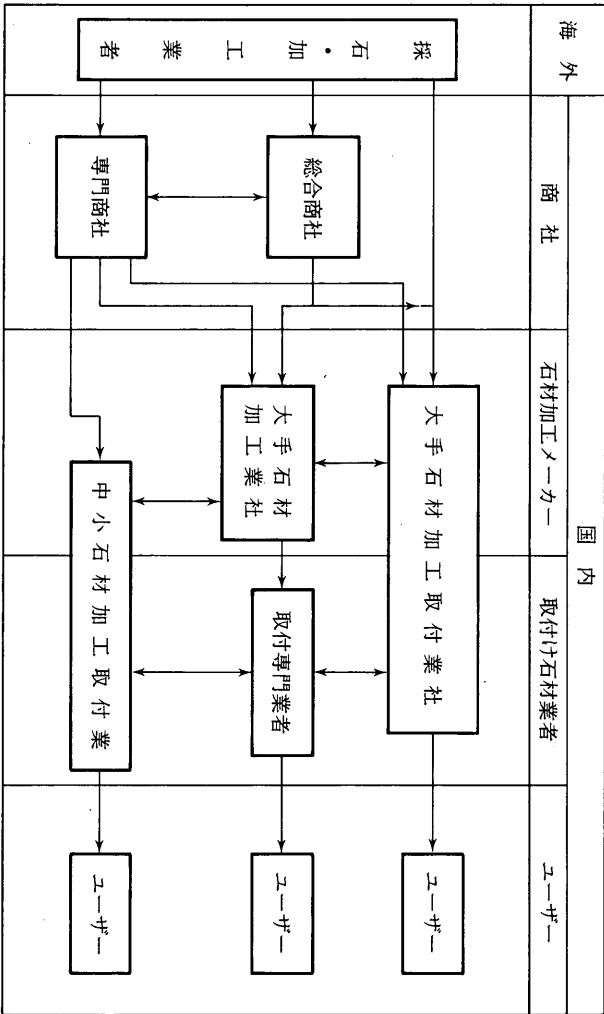
さて第三位の印度も石材産業で成功した国の一例です。今から二十二・三年前はラジャスタン地区のマールブルや砂岩は別にして石材産業は皆無の状況でした。そこへ私共、日本人が乗り込みまして、印度人を連れてデカン高原を駆け廻り「此処堀れ、ワンワン」とやった訳です。抜群に豊富な資源、低賃金、英国人の置き土産の整備された道路と輸送網、巧みな印度商法のお陰で今や世界で押しも押されぬ石材輸出大国にのし上り、グラナイト・マハラジャ輩出といった現況です。

そしてイタリア、流石は石材産業の源流です。歴史の重味を感じます。ピザの斜塔の傍にマリナ・デ・カララという町がありますが、この辺りがイタリア・マールブルの故郷です。ミケランジェロ・クオリーがあります。昔ミケランジェロが彫刻した大理石を採石した丁場です。

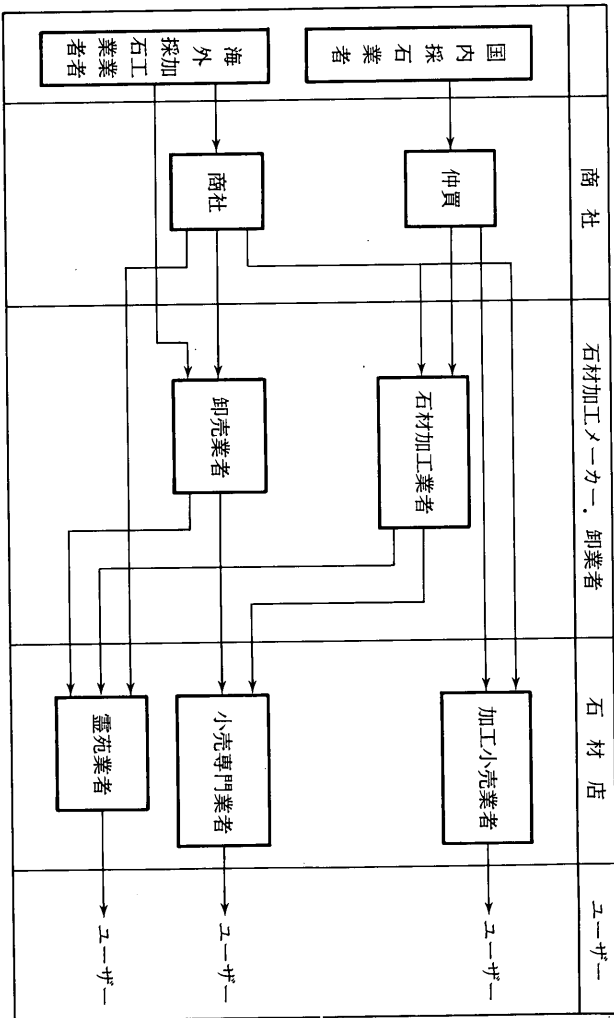
まあこの他、諸々四十位の国から輸入しているでしょうか？　そして供給国は今なお増えつつあります。きつと目にしたこともない珍らしい石をお届け出来る日もそう遠い先ではないかも知

建築材流通プロセス

現在、輸入石材が大半を占めており、輸入石材の流通プロセスは下記の通りである。



墓石材流通プロセス



れません。

ではこういった石がどのような流通経路を辿って市場に流れているかと申しますと、建築用石材と墓石用石材の流通経路と題するチャートを見て頂ければよろしいかと存じます。流通革命とやら申しまして最近可成り従来既存のルートが乱れて来ており、加えて新規参入業者もあり、いつ迄この経路が守られるかは解りませんが、大体こんなものだと思つて頂ければ結構かと存じます。

百二十万屯になんなんとする花崗岩原石でありますが、その約七十パーセントが墓石用に残りが建築用材に使われていると推定しております。たゞ最近の傾向と致しまして、建築用石材の伸び率が極めて顕著であり、この比率は更に接近していくであろうという傾向が見てとれます。そこで最近の建築材の動向を若干お話させて頂こうかと存じます。

それは先づ石厚の二極分化であろうかと思われまします。従来ビルの貼り石に使われるのは二十耗厚が標準でした。それが現在三百耗角の石材タイトルの厚みは十耗が主流を占めており、更には三耗・四耗といった超薄大板物も現れて来ております。無論このような超薄物はその儘では割れてしまいますので、アルミハニカムやセラミックで裏打ち補強します。

実はこういった超薄物を開発したのはアイルランドの業者でした。アメリカがその特許を買い取りましてテキサス州ダラスで生産を開始したのが始まりです。私が偶々ダラスでこれをビルの



外壁に使っているのを見てびっくりし、サンプルを日本に持ち帰りました。ある日のこと、A化成さんが私の事務所でこれを見付け、うちにやらしてくれないかということになり、自社の系列会社が生産するアルミ・ハニカムで裏打ちし「アクラム」という商品名で市場に出されました。非常に軽量ですので水に浮きます。そこで水に浮く石としてPRにこれ努めている訳です。その上強度が抜群に強い。これで細長い板を作り、七十五kgの体重の私がピョンピョンその上で跳びはねても、しないこそすれ絶対折れません。本石より強いのです。又施工が極めて容易である。スキル・ソーで現場で如何様な形にでも切断出来るし、接着剤で誰でも貼りつけられる。施工に専門の石工を必要としないことも大きな魅力です。ビルの内装改修工事はいうに及ばず御家庭でも気楽に使って頂ける夢の商品です。私も石屋をやっておりますが、家を新築する場合壁面等に石を使用するとなると、どうしても軀体を強くせねばならない。その為に非常に金がかかってしまう訳です。ところがこの商品だと従来の木造家屋にベニア感覚でどん／＼貼っていける訳です。応接間の壁一面を大理石にすることだって朝飯前です。いや日曜大工ならぬ日曜石工の誕生です。一寸、器用な方なら御自分で改修工事も出来ようというものです。又これを使ってテーブルやドア等家具類を作っても面白いんじゃないでしょうか？、近未来の商品として大いに注目したいところです。

一方ビルの外壁に使われる化粧石の石厚が、この所、三十耗・四十耗・五十耗とどん／＼厚く

なっています。これは従来の湿式工法や乾式工法に加えてカーテン・ウォール工法が普及して来た為です。アルミ枠の中に石をストーンとはめてその儘壁面に使用するやり方です。こうするとポルト・ナットじめだけで壁面が出来上っていく訳ですから専門の石工は要らない。そうです。薄くなったのも厚くなったのも背後には人手不足解消策という願いがこめられていたのです。石材産業は三K産業の代表のように思われがちです。厳しい、汚い、危険、今時の若者に最も敬遠される職業の一つです。業界の生存を図る為にも知恵をしばり出さねばならない。そんな事情が背後にあるかに思えます。

そういえば日本の採石業だって同じ立場にあります。外国産石材がこのように普及した一因を為すのが国内採石場の人手不足による衰退です。日本の石山に行きましても作業員は圧倒的に高齢者によって占められています。無論彼等はエキスパートです。腕のある職人は一人で月百万、二百万と稼ぐ人もいます。下手なサラリーマン等及びもつきません。それでも若者にとっては魅力とはなり得ないのですね。お金より楽しめた方がよいのでしょうか。そのうち石山にも外人労働者が入り込んでくるかも知れません。

では此処で一寸石のお値段について触れてみましょう。皆様、大理石というと、なにか贅沢品のように思われて高級イメージと結びつけられるようですが、実はみかげ石の方が高いのです。特に日本産のみかげ石は国際価格をはるかに飛び抜けております。

冒頭に触れました四国の庵治で採れる庵治石特級品の価格はどれ程だと思いですか？ 二十五年間に亘り世界の石を扱って来ましたが未だこんな高い石にお目にかゝったことはありません。そうです山渡し荒割りの儘で一尺立方辺り十五万円です。これでお墓を作るとなりますと一番小さい八寸角でまあ一千万円といったところでしょうか。それでも仲々手に入らないのです。美智子皇后様のお母様のお墓の場合も、い、石が採れる迄半年かゝたと聞いておりますし、私も最近、お世話になった某電鉄の会長さんが亡くなられ、どうしても庵治石ということでお世話させて頂きましたが矢張り半年近く待たされました。まさに墓石材のダイヤモンドといった所です。その次に来るのが神奈川真鶴で採れる小松石。これも五万円から六万円します。伊予の大島で採れる大島石、これが約三万円、六甲みかげがなくなつた今、このあたりが日本三大銘石といつたところでしょうか？ それに比較しますと輸入材はグリーンと割安です。庵治石類似のアメリカ小目石で一万円、ビデオで見て頂いたアフリカの黒で五千円から一万円どまり、中国の安い石だと一千五百円、実に庵治石の百分の一のお値段です。日本人であり乍ら、日本産の石でお墓を建てるのが仲々難しい世の中となりました。

では次に墓石材質選定のチェック・ポイントを申し上げます。先づ硬度、これは堅いに越したことはありません。その上粘り気があればいうことありません。吸水率・孔隙率共に低いもの、赤錆びの吹かないもの・玉・あざ・むら・筋・疵のないもの、特に疵は髪の毛のように細い

もので避けられた方がよいかと存じます。無論あざもいけません。特に黒あざはお避け下さい。黒みかげの場合人気商品は、印度産です。同じ印度といっても私共だけでも百種類以上扱っており値段も千差万別です。目が細かく漆黒のものが上質とされていますが、中には墨を塗って化粧したものがあるのでお気をお付け下さい。手で触れてヌメリとすれば先づ化粧品です。御興味と御関心のお有りの方は何時でも御相談下さい。喜んでアドバイスさせて頂きます。

このように致しまして私共は墓石用に記念碑用に建築用にそして修景環境構築用にさまざまな国から、花崗岩・斑れい岩・輝緑岩・安山岩・玄武岩・凝灰岩・大理石・石灰石・砂岩の数々を輸入して参りました。今、巷を見ますと随分いろんな場所で石材が使われています。大は新都市舎に代表される高層ビルから駅舎・マンション・公園・レストラン・料亭・バー・そして町のお寿司やさんのカウンターに至る迄、色とりどりの石で飾られております。家具屋さんの店頭でも随分、ストーン・ファニチャーを目にする機会が増えました。そうです。今石達が再び語りはじめたのです。第三石器時代が幕を明けようとしているかのようです。嘗って石屋の上に「オイ、コラ」がつくと申し上げました。然し今や石材産業は嘗っての古代エジプトやマヤやインカ帝国や中世教会建築華かなりし日の栄光を取り戻そうとしているかのようです。一昔前なら想像も出来なかつたことですが、日本を代表する大手企業、IH Iさんや住友金属さん、Y・K・Kさん、そして新日鉄化学さん達が石材産業に参入してきております。古い石屋のイメージは急速に過去

のものとなりつつあります。その点業界に身を置く者の一人として素直に喜び度いと思います。唯、私は夢物語りかも知れませんが、石の別の用途も再開発したいものと思っております。薬石と申しますが中国の先人達は石の治療性能にもっと精通していたのではないかと思えます。先輩の皆様方の中でそういうことにお詳しい方がいらつしやいましたらお教え頂き度いのですが、例えば弱放射性花崗岩、これは新潟県の駒ヶ岳山中で取れる石ですが、これを粉末にし、白色ワセリンと練り合わせますと素晴らしい軟膏が出来上ります。

かれこれ二十年以上愛用しておりますが、切り傷に対して、化膿に対して、これに勝るものはないかと自負しております。市販の塗り薬のいずれを試しても効ない時でも、これをべつとりと塗っておきますと一週間もしないで完治してしまいます。薬事法のうるさいからみもあり、今の所独りで重宝し、いゝ思いをさせて頂いている次第です。又、この粒状のものを袋につめ、風呂で使用しますと、即席ラドン温泉の出来上りで非常によく暖まります。ラドンの発癌性云々を耳にしますが、かれこれ三十年浸っていますが今の所、異常はないようです。又SiO<sub>2</sub>の含有率七十パーセント、他はマグネシウムといった金属を含有している石の粉末が痛み止めに著効があり、「らくらく」と称するピップエレキバン紛いの貼り薬がありますが、これも実によく効きます。何故痛みがとれるのか原理的には解らないのですが効くことに間違いはありません。「一寸、そちらの方に目をやって下さい」小さな石ころが沢山ございます。これはブラジル南部の山奥で採

れたものです。要するに縞めのう石ですが中に水晶体があり、たっぷりと水を含んでおります。この石で体の痛む場所を撫でていると痛みが薄らいで参ります。私の家内等、目の上に置いて目の疲れを愈していますがとても楽になるそうです。伝承によりますと現場のインディオ達は、この石の大きいのを村に置いておきまして、病人が出ますとこれを抱かせて病氣治療に使っていたとのことです。又狩りに出る時に此の種の石を腰に着けて行くと大獵であったと言われています。遠いブラジルの話は別として最近こんなことがありました。

三高時代の仲間の一人がN市の市長選に立候補しましたが善戦空しく惜しくも次点に終わりました。「じゃあ、君、今度この石を持ってもう一度やってみいや。これは幸運の石やから肌身離さず持つておれよ」と云って石を渡しました所、それから程なく行われた県議選で美事当選の栄を克ち取りました。「此の石のお陰や、これは有難い」となった次第です。若しおよろしければ皆様一つづつお持ち帰り下さいませ。数不足の場合は御答謝下さい。

まあこういったですね。石と人体との関わり合いをもう一度見つめていき度いと思っっている次第です。

皆様お笑いになりますけどねえ。左巻きと右巻きの渦の違いは御存知ですか？ それでは一寸、実験してみましようか。

紙がありますか？ 右巻きの渦と左巻きの渦をこう書きます。

「安部さんねえ、左手の親指と人差指でこの左巻きの渦を押さえ、右手の親指と人差指でOリングを作ってください。そして私に開けられないようにぐつと力を入れてください」

「はい。簡単に開きましたね。今度は右巻きの渦を押えて同じようにOリングを作ってください」  
「ウーン。今度は仲々開きませんね」

嘘だと思えば、そちらで実験してください。左巻きがとれて右巻きはとれないんです。やってみて下さい。

—— 笑い声や掛け声 ——

どうです。その通りでしょう。こういうことがあるんです。ですから私は、ある種の石の持つ個有振動数が生体エネルギーに共鳴しプラス効果を与えることだってあながち無いとは言い切れないと思うのです。物質の発する波動をもっと研究したいなと思う訳です。

余談になりますがナチスのハーケンクロイツ、あの鉤は右巻きに付いていますよね。お寺の卍は左巻きですよ。右巻きにすると締めるからナチスのようなガチガチのものが出来上るのです。逆に左巻きにするとゆるめるから卍のお寺に行くとホンワカホンワカ安らぎが感じられるのではないのでしょうか？ 締める。緩める。右左はなにもネジだけではなかったようです。こういうことは三高でも大学でも教えて頂きませんでした。

どうもえらい漫談調になってしまいました。到底十八日会のお話しには相応わしゅうはございません。せんでしたが、どうやら時間も参ったようでございますので、この辺で御勘弁頂ければと思います。

どうも御清聴有難うございました。

(礦産貿易株式会社取締役社長・日本石材商社会会長)